

一般質問

■「七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
とSDGsについて

市民が主役の産官学民の提携が大事だ！

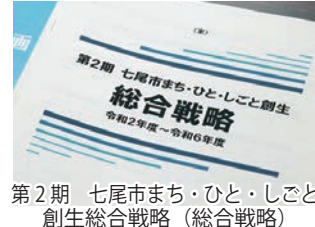
質

第2期七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各基本的施策には、17の「持続可能な開発目標（SDGs）」がはりつけられており、市民とどうやってこの目標に近づけていくかが非常に重要だ。市民が主役となり、行政が後押しすることが大事だと思うが、現在どんな取組があり、総合戦略のどの項目を重要テーマにしようとしているのか伺う。

また、市民を主役とするためには、産官学民の提携が非常に大事であるが、どういうパートナーの構築がされているのか。それから、SDGs 未来都市の認定作業の進捗状況を伺う。

答

第2期総合戦略では、4つの柱に沿った10の基本的施策ごとに17のSDGsを関連づけ、事業に取組むことになっている。能登地域の世界農業遺産・歴史・文化・食といった後世に残すべきものをしっかりと残していけるよう取組んでいます。



第2期 七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合戦略）

10月に、（仮称）七尾SDGsコンソーシアムを立ち上げ、（仮称）能登SDGs市民大学を新設し、「SDGs・社会課題の解決・持続可能な経営」を組み合わせた創業新事業に必要な知識の習得という取組みを進めていく中で、SDGs未来都市の認定申請を目指す。



桂 撤男 議員
（灘会）



SDGs（持続可能な開発目標）のロゴ

一般質問

■国道160号庵地内の歩道改修について
■庵・鶴浦・大田新線について

事業の進捗状況は？



大林 吉正 議員
（灘会）



道幅が狭くなる庵・鶴浦・大田新線の百海町～白鳥区間

質

国道160号庵地内の歩道整備は、半分は未整備のままとなっているので、以前に議会質問したところ、国土交通省と話をしながら町会役員と相談するとの答弁だったが、現在の状況について伺う。

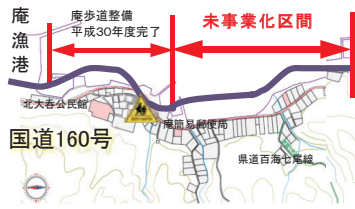
また、一般県道庵・鶴浦・大田新線の百海町から白鳥町の約300mほどが改修されていない。用地測量は終わっていると思うが、いつ頃改修するのか伺う。

答

町会と過去2回、いずれも11月に打合せ会を行っており、今年も11月頃に実施できればと考えている。

石川県が管轄する一般県道庵・鶴浦・大田新線の百海町から白鳥区間については、平成30年に完成した大泊地区に引き続き、拡幅による道路改良工事が計画されている。

令和2年度に用地測量が完了し、現在、用地取得に向け地権者との交渉中で、石川県から、用地取得後、改良工事に着手していきたいと聞いており、七尾市も早期着工に向け、石川県と協力していく。



一般質問

■2023年国民文化祭について

どのような準備体制で進めるのか？

質

2023年秋に石川県で開催される国民文化祭は、天皇陛下がご臨席される四大行幸啓のひとつに位置付けされる文化の祭典であり、七尾市の魅力ある歴史・文化遺産の情報発信や、優れた芸術・演劇文化に触れることができる機会であり、大いに期待するものである。

そこで、地域の特色を活かした七尾市独自事業は、どのような文化資源を活用したものを想定しているのか。また、どのような準備体制で取組んでいくのか伺う。

答

七尾市の文化資源としては、日本百名城である史跡七尾城跡や能登演劇堂を中心とした演劇文化の振興、それからDMOと連携した地域観光づくりなどが考えられ、参加したい、見たいと思わせる事業の企画立案に向け、関係団体と取組んでいく。

8月18日に、七尾市実行委員会を設立した。文化協会、障害者福祉団体連絡協議会、ななお・なかのとDMO、地域づくり協議会連合会などの委員会をもって組織し、必要な事業に取組んでいく。

市長が例示した七尾市の文化資源

- 日本百名城 史跡七尾城跡
- 能登島山文化を象徴する長谷川等伯
- ユネスコ無形文化遺産 青柏祭の曳山行事をはじめとする祭り行事
- 世界農業遺産「能登の里山里海」
- 能登演劇堂を中心とした演劇文化



荒川 一義 議員
（無党派）



ユネスコ無形文化遺産
青柏祭の曳山行事